

2 サタデーセミナー

2. 1 自然災害に向き合う(家庭分野)

(1) 研究開発の課題(研究概要)

自然現象の発生要因とメカニズムについて知り、自然災害化した場合の避難所生活を体験することによりリーダー的な役割を果たせるようにする。

(2) 研究開発の経緯

防災科学研究所専門員である納口泰明先生に講師を依頼し、身の回りで起きる自然現象について理解し、災害化に至る要因を把握させ、避難所での生活体験を通して少ない資材を工夫することにより日常に近い生活を送ることができるか考えさせる。

(3) 研究開発の内容

ア 仮説(ねらい、目標)

自然災害のメカニズムを知ることにより、「科学リテラシー」および「総合人間力」を高めることができる。

イ 研究の内容・方法

該当教科 家庭

対象生徒 1、2年生の希望者 40名

日時場所 12月12日(土)本校 生物講義室

実施内容

講演

演題 「Dr. ナダレンジャーの感性による自然災害科学実験&サバメシ体験」

講師 納口泰明 先生

国立研究開発法人 防災科学技術研究所 専門員

内容 自然災害発生のメカニズムの解明および「サバメシ」(サバイバル飯の意)と題して空き缶と牛乳パックを利用して米を炊く実験。いかに快適に避難所生活をおくるかを考える。

ウ 検証(成果と反省)



講義の様子

生徒の感想から

- ・自然現象と自然災害の違いがわかった。
- ・身の周りのものを工夫して使う方法を理解した。
- ・自分の能力やセンスを向上することができた。

どこにでも起こる可能性がある自然災害について発生のメカニズムを理解することができた。また身の周りにある物を工夫して使うことにより、災害発生時の備えだけでなく実践を体験することができた。よって災害時のリーダー育成につなげることができた。